~来年度、開校140周年を迎えます

本校は、小田急線町田駅からほど近 いにぎやかな街中にあり、地域に根ざ した伝統ある小学校です。地元の温か い人情につつまれて子どもたちは伸び 伸びと成長しています。

昨年度と今年度は、教育委員会の研 究推進校の指定を受け、「自ら育む健 やかな体 - 進んで運動する児童の育 成一」を研究テーマに、「体育科」の 研究に取り組んでいます。10月12



▲校内研究授業の様子

日(金)に授業公開と研究発表会を予定しています。

本校では、毎年多彩なゲストを学校にお招きし、体験や公演などを通して 豊かな心を育てる取り組みを行っています。

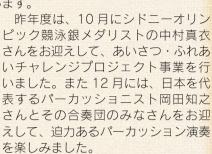


▲岡田知之パーカッション合奏団 with小林和子

団『双数姉妹』の皆さんに来ていただき、秋の学芸会をめざして発声や体ほ ぐしなどの演劇の基礎をレッスンして もらっています。また、二学期の後半

には、日本画壇を代表する大津英敏画 伯をお迎えし、パステル画を共同で制 作する活動を予定しています。

日常の授業にも、多くの地域の方を ゲストティーチャーとしてお招きした り、近隣の大学からの学生ボランティ アも多数活動したり、子どもたちの学 びを助けていただいています。

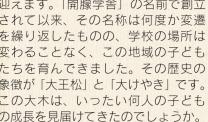


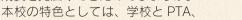
今年度は、一学期からプロの演劇集



▲プロの演劇集団「双数姉妹」 とのワークショップの様子

本校は、来年度、開校 140 周年を 迎えます。「開朦学舎」の名前で創立 されて以来、その名称は何度か変遷 を繰り返したものの、学校の場所は 変わることなく、この地域の子ども たちを育んできました。その歴史の 象徴が「大王松」と「大けやき」です。 この大木は、いったい何人の子ども の成長を見届けてきたのでしょうか。







▲大けやき

地域が一体となって行われる「夏休みワクワクスクール」があげられます。 夏休みの一日、教職員や地域の皆さんが設定する様々な講座、スポーツ、音



▲異学年交流

楽、実験、料理・・・子どもたちは、思い思い のコーナーに参加しながら、最高の笑顔を見 せてくれます。

また、異学年交流活動に取り組み、優しさ、 思いやり、リーダーシップを育てています。 通常の学級、学年活動では見られない子ども たちの良さが見えてくる活動でもあります。

今年度からは、小中一貫町田つ子カリキュ ラム「食育」の実践として、年3回、「お弁 当デー」を始めました。学年に応じて、保護 者と子どもが一緒にお弁当を作り、学校に持

ち寄ります。「お弁当デー」の日には、学校のあちらこちらで、楽しそうに お弁当を開く様子が見られます。

その他、長年続けられている、読書活動。図書指導員、図書ボランティア

の皆さんがすてきな図書館を整備してく ださっています。「おはようブックス」は、 保護者の方が子どもたちに本の読み聞か せをしてくださる時間です。子どもたち の心が癒やされる朝のひとときです。

南第一小学校は、今も、保護者、地域 の皆さんに支えられ、子どもたちの笑顔 が輝く学校です。



▲お弁当デー

~自然や地域を活用し、地域の方や子ども同士の学びの学校~

本校は、緑に囲まれ、鳥のさえずりが 聞かれる自然豊かな学校です。今年の春 も校舎にはツバメが巣作りをし、裏の里 山から竹の子がたくさん採れました。校 庭には、芝生が青々と育ち、休み時間に は裸足になって遊ぶ姿も見られます。子 どもたちはきちんとした挨拶ができ、素 直で元気いつぱいです。

本校は創立60周年を迎え、6月16 日に記念式典が行われました。前日の記



▲60周年航空写真

念集会や式典で6年生が、4月から練習に練習を重ねた「sing,sing,sing」 の合奏曲を全員が心を一つに演奏し、聴く人たちに感動を与えました。また、 昨年の6年生(今の中学1年生)が作った小山田小を凝縮した詩を、集会 では全校で、式典では6年生が群読しました。これも聞く人を魅了するも

ので、会場内のお客様の目頭を熱くするもの



▲芝生でのGボール

でした。 また、「お互いを大切にする児童を育てる 指導法の工夫」〈芝生を生かした活動を通し て〉をテーマに研究をし、6 月には、6 年生 と2年生が一緒にGボールを使った体育の 学習に取り組みました。6年生がいろいろな 動きに挑戦し、2年生がその動きを真似ます。

6年生のサポートを受けながら、2年生はできる喜びを味わうことができま した。6年生は下級生から慕われ、憧れられるよいお手本となっています。 さらに、裏にある里山の自然や地域を活用した学習を取り入れています。

青少年健全育成地区委員会の方に協力をいただいての稲作やサツマイモの栽 培。森林インストラクターの協力を頂いて の里山体験。「ぬくもりの園」の高齢者の 方との交流会。地域の農家の方にトマト の苗の植え方を教わり、トマトが育つま

での過程や苦労や農家の方の気持ちを学 ぶ、等々。ボランティアコーディネーター の尽力があり、自然や地域や地域の方々 から心に残る学びが展開されています。



▲農業委員の方と田植え

本校は、1947年の新制中学 校スタートとともに開校をした、 町田市内でも最も伝統がある中 学校の一つです。以前は、現在 の「子どもセンターつるっこ」の 位置(大蔵町)にありましたが、 2002年に現在の小野路町に移転 しました。

現校地への移転の際、新校舎に は斬新なデザインが用いられ、上



▲鶴川中学校 校舎外観

空から見ると円を4分の1にしたような形が採用され、曲線が多用されてい ます。また、校舎内部には天然木の建具が多く用いられ、木の温もりによる 温かい雰囲気になっています。さらに、温水プールや免震構造の体育館など 先進的な設備もあり、とても充実した施設になりました。



▲理科メディアセンター

この校舎の最大の特徴は「教科教室 型」であることです。各クラスには 「ホームベース」と呼ばれるホームルー ムがありますが、「ホームベース」で 授業を受けることはなく、授業の際に は各教科エリアに移動をして学習する システムとなります。各教科ソ は「メディアセンター」と呼ばれるス ペースがあり、教科の特性を生かした

展示等の充実を目指しています。また、学校全体に芸術作品を展示する「鶴 川中ミュージアム化計画」を推進しており、教育環境の整備に力を入れてい ます。

このように、鶴川中学校を一言で言 うと「斬新でモダンな校舎を手に入れ た伝統校」と言えます。これからの鶴 川中学校は、地域の皆さまとともに伝 統を大切にし、人と人のつながりを大 切にし、その上で今まで以上に新たな ことに積極的にチャレンジする学校を 目指していきます。



▲鶴川中ミュージアム 作品展示